

## 2024年度 事業報告（グループホーム）

グループホーム施設長 山本靖雄

### 1. はじめに

社会福祉法人あゆみの会グループホーム【若葉ハウス・秋篠ハウス・高山ハウス】は介護サービス包括型共同生活援助事業所として運営を行った。暮らしの主体者は利用者であり、グループホームは地域の一員として共に暮らす生活の場という事を念頭に置き、支援にあたった。

### 2. 職員・業務体制

主任1名、秋篠ハウスに男性2名、高山ハウスに女性1名の常勤職員を配置し、支援の質の向上や連携する機関との情報共有を中心に取り組んだ。主任・各ホーム常勤職員が中心となり支援に取り組み、非常勤職員やメンバーの声に耳を傾け、日常業務にあたった。

また、各ホームに通信機器の環境を整える事で職員の事務作業の効率化を進めた。支援の中においては絵カードやイラストなどを作成し活用する事で、視覚支援等の専門的な部分を用いてより分かりやすく意思疎通を図り、利用者の想いに寄り添えるよう心掛けた。

### 3. 施設・支援状況

利用者及びご家族が希望する生活や利用者の心身の状況等を把握し、相談、助言、日常生活の支援（洗濯・掃除・入浴・歯磨き・食事・身だしなみ等）を行った。

今回、ご家族への利用の誘い掛けを行う事で前年度よりメンバーの利用日数を増やす事ができ、全体として利用の安定に繋がった。また、重度の方を受け入れるスタッフ配置（重度障害者支援加算）を計画し申請する事で新たな加算を算定し、収入増加に繋がった。

11月には高山ハウスを利用していたメンバー1名が退所され、12月より1名の体験利用が開始した。体験利用を行った事で、2025年度の利用契約に繋がり、空床を防ぐ事ができた。同施設において1名の利用者が来年度に1人暮らしを希望している為、相談支援と連携を取り本人の希望に添えるように支援を行っている。

### 4. 地域連携

奈良市グループホーム協議会（会議・グループホーム見学会・運動会運営）への参加を継続して他事業所との交流、情報共有を行い支援の質の向上に努めた。

### 5. 新規グループホーム「北秋篠ハウス」に関して

2025年4月開所予定である北秋篠ハウスの開所準備を行った。申請書類の作成、プリンター設置、緊急通報装置の新設等々の工事、利用予定のご家族への説明会、聞き取り、見学会等を行い、無事スタートする事となった。